

## 秋田県事故多発交差点ワースト1で街頭活動を実施

～ドライバーと歩行者へ交通安全を呼びかけ～

日本損害保険協会東北支部秋田損保会(会長:嘉屋 次郎・東京海上日動火災保険株式会社秋田支店長)は、11月1日(金)16時から「山王十字路交差点」において秋田中央警察署等と一緒に交通安全・事故防止を呼びかけました。

この取り組みは、昨年秋田県内で人身交通事故の発生が最も多かった「山王十字路交差点」において、ドライバーに対してのぼり旗やプラカードを掲げながら夕暮れ時の早めのライト点灯を呼びかけるとともに、歩行者等に対して、県・県警・秋田損保会等が連名で作成した高齢者交通事故防止チラシと反射材を配布し、交通安全を呼びかけるものです。

「山王十字路交差点」は、当協会が2008年に事故多発交差点の公表を行って以降、8年連続12回目のランクインとなる、常連交差点です。昨年は8件の事故が発生し、うち1件は横断歩道を横断中の歩行者と接触する事故でした。

当日は、秋田損保会の他、秋田中央警察署署員、秋田市立山王中学校生徒、秋田地区交通安全協会会員、秋田県職員、秋田市職員等約50名が集まり、交差点を通るドライバーや、歩行者・自転車利用者に対し、注意を呼びかけました。

当支部秋田損保会では、引き続き関係機関とも連携のうえ、交通事故の防止・削減に向け、各種啓発活動を進めてまいります。



呼びかけをする嘉屋損保会長



取組みを説明する秋田損保会



高齢者交通事故防止チラシ(表・裏)

チラシのPDFは以下からご覧いただけます。

[https://www.sonpo.or.jp/news/branch/tohoku/2024/pdf/2411\\_chirashi.pdf](https://www.sonpo.or.jp/news/branch/tohoku/2024/pdf/2411_chirashi.pdf)